



令和2年4月15日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス
代表者名 代表取締役社長 安田 忠史
(コード番号：4671 東証第一部)
問合せ先 執行役員管理室副室長 大馬 久幸
(TEL. 075-257-8585)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、令和2年1月22日に公表した令和2年3月期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想の修正について

(1) 令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	43,000	1,150	1,250	1,500	140円77銭
今回修正予想（B）	43,200	850	950	1,250	117円52銭
増減額（B－A）	200	△300	△300	△250	
増減率（％）	0.5%	△26.1%	△24.0%	△16.7%	
(参考) 前期連結実績 (平成31年3月期)	44,156	1,338	1,632	653	59円80銭

(2) 修正の理由

売上高については、令和2年1月22日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、火災事故からの復旧が火災発生当初の想定より早く完了し、また、コンパニオン診断薬「MS I検査キット（FALCO）」の販売実績も順調に推移してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による受診患者数の減少等により、3月度の臨床検査事業の検体検査売上高は想定外の10%程度減少いたしました。その結果、臨床検査事業の売上高が前回予想より減少しております。また、処方箋枚数においても3月度は想定外の10%程度減少しておりますが、高額薬剤処方増加に伴う処方箋単価の上昇等により、調剤薬局事業の売上は堅調に推移いたしました。これらの要因により、売上高は前回予想どおりを見込んでおります。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の減少については、主に新型コロナウイルス感染症拡大による受診患者数の減少や固定費負担の増加等により、検査体制の再構築投資による原価改善及び収益改善が遅れたことによる影響であります。これらの要因により、上記のとおり業績予想を修正いたします。

なお、配当予想については、前回発表予想から変更はありません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上